



▲解体中の市江車モザイク壁画

ユネスコ無形文化遺産登録を契機として、多くの方に市江車を知っていただくためにも、立田道の駅という観光拠点を見直しては。

産業建設部長 道の駅の駐車場は、県道としての位置づけとなっており、簡単に拡張できない。トイレの改修は、今年度、多目的トイレ、男性トイレ、女性トイレ、力所の洋式トイレを温水洗浄便座に取りかえる工事を発注した。今後、関係機関と協議し検討して

いく。

旧佐屋町役場の建設からの歴史ある市江車のモザイク壁画の復元は。

総務部長 展示スペースの確保や復元方法に伴う責任区分などの課題が解消されるとともに、ユネスコ無形文化遺産の啓発事業に寄与することへの妥当性などを有することが復元の条件になっている。

市民と行政の協働は

市民が行政に関わっていることが見えにくい。市民と行政の協働も、広報、ホームページなどを通じて発信していくことが大切では。

市民協働部長 平成29年度から広報「あいさい」において、協働の事例を掲載していく計画を持っている。4月号の広報で、2月に市内の中学2年生を対象に自治基本条例を策定した市民委員による自治基本条例の出前授業

が行われたので、その紹介を予定している。

市民活動団体などへの活動支援だが、実際に市の職員が市民活動団体のものに赴き、一緒に活動してみることも大切では。

市民協働部長 市民活動団体等の活動内容を知ることとは、相互理解を深め、信頼関係を築くためには大切である。職員が地域へ出向くことは、市民と行政の協働を推進していく上で大変重要であるということは認識している。



立田道の駅という 観光拠点を見直しては

竹村仁司 議員

関係機関と協議し、
検討していく
産業建設部長



▲市民と行政が関わったまちづくり大会